

『めづるくらし』的へ人・モノ・こと

【めづる】とは

「愛め・づる」(愛する、思い慕う、賞賛する、褒める、好む、好きになる、気に入る)の古語で、
「め・づる」は、「珍め・づる」(珍めづら・しい)にも通づると考えています。
ここでは、『めづるくらし』研究会が厳選した情報をお届けします。

— 使うほどに、木の温もりが手に馴染んでいく

最近見直されている、人気の『木製ステッキ』の魅力とは!?

古来から愛用されてきた(ステッキ)の進化や歴史を見ると、時代や人々の生活を映す鏡のような一面を持っている。

近代の日本、明治から大正時代は紳士のおしゃれアイテムといえば、大曲のステッキにシルクハット。他にも杖手元に象牙や水牛、貴金属を用いた豪華なステッキもある。ステッキは紳士、淑女のステータスであった。昭和初期の頃のハイカラな若者たちは、ステッキをアクセサリとして携帯。「うちのお祖父さんが持っていた」と耳にするのもこの頃の話である。

しかし太平洋戦争から終戦を迎え、ステッキをおしゃれで持つ人は激減。効率優先の高度成長期に入ってから、生活も合理性や利便性が重視され、ステッキも実用一点張りの時代になっていく。歩行補助としての機能性は高くなったが、その反面、無機質で「格好悪い」「年寄りのもの」などといわれるようになり、ステッキを使うことに抵抗を持つ人が増えていった……。

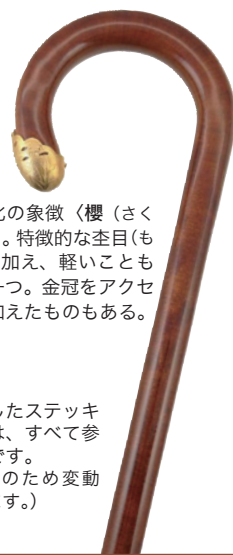
それが近年、ステッキがまた見直されている。気軽に持てる花柄などの「おしゃれなステッキ」が増え、自由に好みに合ったステッキが選べるようになったのである。

さらに今「こだわりの一本」として『木製ステッキ』が話題になっている。

高齢者への贈り物として、また植木感覚

でこだわりの好きな木のステッキを求める人。さらに、アルミなどの金属製品では得られない、木の触感と着き心地を楽しむなど。若い人でもおしゃれアイテムとして、また歩行補助として使用するにも、より格好のいいモノとして『木製ステッキ』を求める人が増えてきているのである。

その人気の『木製ステッキ』に長けたずさわり、強いこだわりを持つ(土屋産業株)のモノ作りと銘木を見ていく。



日本文化の象徴〈櫻(さくら)大曲〉。特徴的な柰目(もくめ)に加え、軽いことも魅力の一つ。金冠をアクセントに加えたものもある。
¥38,500

*掲載したステッキの価格は、すべて参考価格です。(天然木のため変動があります。)

Cherry Mountain 『チェリマウンテン』へのこだわり

土屋 雄一：土屋産業(株)・代表取締役社長
昔(ステッキ(杖))といえは全国各地の山々に自生している木をそのまま使用していました。なかでも「桜(櫻)」はステッキの代表的な素材でした。

ステッキの最初の思い出は小さい頃、庭先に積み上げられていた大量の「桜の木」でした。もう40年も昔のことで、当時はなぜ庭にたくさん桜が積まれていたのか解りませんでした。それは桜の皮付き大曲ステッキを作るための材料を家族で常に見守りながら自然乾燥させていたものだったのです。

こんな些細な昔の出来事ですが、「材料の選別から製品の完成までを一貫して行う」という伝統のステッキ作りにおける大事な工程の一つでした。

現在でもこの考えを社是とした、品質・安全性・デザインにこだわる老舗のステッキ屋として、日本を象徴する「桜」と、その美しい風景を持つ日本の良さ、美しさ、想いを東京・浅草橋から発信する。そうい



ステッキの曲がりを確認する、土屋雄一社長。

『相棒 season18』
(2019年・テレビ朝日)第6話「右京の目」劇中で使用された〈No.202 オーク変形型〉¥8,250



6: パフ(磨き)・・・最後にパフでステッキに磨きをかけ、光沢のある美しい柰目のステッキに仕上げる。この磨き工程も職人技の見せ所となる。



3: ため(微調整)・・・角材で仕入れしている材料は自然乾燥後、小さな反りをステッキ職人の感覚でまっすぐに修正。



2: 製材・・・杖手元や支柱に合わせた形状に製材。木材の種類によって様々な柰目(もくめ)があり、この柰目の取り方も職人の技術の一つ。柰目の取り方でステッキとしての十分な強度を確保することにもなる。



5: 色付け・塗装・・・染料が木材の導管に沈着するまで何度も行なう。この時間のかかるこだわりの作業が、柰目を生かした美しい深みのある色合いを作りあげる。色付け後、表面をウレタン樹脂で塗装仕上げ。



1: 素材・・・熟練したステッキ職人の目で厳選した材料を最低1年以上かけて自然乾燥。機械乾燥させた材料や湿気が十分に取られていない材料は、ステッキの変形の原因となるため、じっくりと自然乾燥させる。



4: ルーター(削り作業)・・・杖手元は、ステッキそれぞれに合わせた形に大まかにカット(杖手元作成/引抜)。材料を、何種類もの専用の刃物を用いて形を整え、最終的な杖手元の形に削りながら仕上げていく。

弾力のある〈寒竹大曲〉は、孟宗竹の竹根を加工。節の数が多いほど高級品。
¥165,000～

世界最高峰、ステッキの王様〈スネークウッド大曲〉。蛇の鱗の様な模様が魅力。
¥880,000